

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)医療法人亀岡病院建替工事	階数	地上4F
建設地	京都府亀岡市古世町3丁目	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域/第二種住居地域、	平均居住人員	200人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2012年2月22日
敷地面積	5,206㎡	作成者	中谷真
建築面積	1,406㎡	確認日	
延床面積	5,263㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	81%
③上記+②以外の	81%
④上記+	81%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	2.6
温熱環境	2.0
光・視環境	2.6
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.3
耐用性	3.1
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

建物の	3.4
自然エネ	3.0
設備システ	4.5
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.0
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.7
地域環境	2.9
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	・快適な療養環境の提供・環境負荷の低減・将来に対するフレキシビリティの確保を目標に設計を行っている。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	・病室階の全周にバルコニーを設置し庇効果による熱負荷の低減を図っている。	Q3 室外環境(敷地内) ・建物廻りに十分空地を確保している。 ・室外機の大半を屋上に設置することで周辺温熱環境へ配慮している。
LR1 エネルギー	・ヒートポンプ給湯機、一部に水蓄熱ヒートパンプを採用し、省エネ機器の採用による省エネルギー化を図っている。	LR3 敷地外環境 ・オール電化により大気汚染物質を排出しないよう配慮している。
Q2 サービス性能	・外壁及び内壁の乾式化により将来の改修に対するフレキシビリティを確保している。	
LR2 資源・マテリアル	・電炉鋼材・再生砕石等のリサイクル材を利用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される